

学習・教育の卓越性の推進と向上にむけた  
オーストラリアの取組

NIAD-UEセミナー 2010年12月8日

オーストラリア学習教授審議会 (ALTC) 会長  
キャロル・ニコル

# プレゼンテーション概要



1. 学習・教育の向上と推進にむけたオーストラリアの取組の現状
2. オーストラリア学習教授審議会 (ALTC) の紹介
3. 教育・学習基準について
4. 「ALTC 学習・教育基準プロジェクト」

# オーストラリアにおける背景

- 歴史的に、国の組織が高等教育の学習・教育の向上に関与
  - 大学教育振興委員会(1992-1996年)
  - 大学教育・スタッフ・ディベロップメント委員会(1997-1999年)
  - オーストラリア大学教育委員会(2000-2004年)
- 連邦政府の関係省庁が管理運営
- 限られた財源(オーストラリア大学教育委員会(AUTC)の場合、最高限度額は100万ドル)



# ALTCとは?



- 高等教育改革パッケージ「未来を担うオーストラリアの大学」(2003年)
  - 高等教育の学習・教育のための国の機関の設置を決定
    - 2006年より2,460万豪ドルを出資
- 前身は、Carrick Institute for Learning and Teaching in Higher Education(2004年設立)
- 独立した理事会を持つ国の機関(会社組織)
- 2008年に「オーストラリア学習教授審議会」(ALTC)に改称
- 所在地:シドニー、職員数:約35名
- 46の加盟機関:連邦政府から財政支援を受ける大学等の高等教育機関

## ALTCの目標



- 第一に学生の学習、第二に教育という位置づけを示す
- 大学における教育の地位と重要性を高める
- 教育・学習関連の奨学金を拡充する
- 効果的で柔軟性ある国の学習・教育政策に貢献する
- 学生の学習経験の質を向上させる
- 国内外の学習・教育に関するベンチマークを策定
- アカデミックスタンダードの重点化に焦点を当てる

# ALTC 2010年度の業務

- 各種プログラム・サービス
  - 「教育・学習のイノベーション・開発助成金」:  
優先課題だが非現実的?
  - 「教育・学習の戦略的優先プロジェクト」: 国家重要課題
  - 「学習・教育の卓越性におけるリーダーシップ」:  
助成金プログラム、専門的能力の開発
  - 「オーストラリア高等教育教員フェローシップ」
  - 「オーストラリア大学教育賞」
  - ウェブサイト「情報ライブラリー」



## 主要課題



- どのようにプロジェクトの成果を発信、共有し、より多くの価値を得るか
- 「高等教育セクター及び教育機関へのインパクト」か「個人へのインパクト」か
- いかに教育の質や卒業生の学習成果に無関心な教員へ働きかけるか
- 研究重視の学術文化において、どのように学習・教育を高等教育の中心的存在として位置づけるか
- 政府及び高等教育セクターの優先課題への取り組み

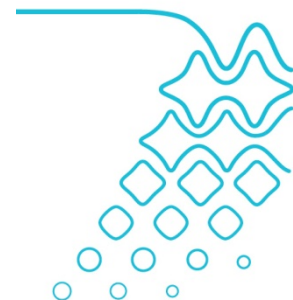
# 教育・学習基準



- オーストラリア高等教育質・基準機構 (TEQSA) :  
基準枠組みに照らして高等教育機関のパフォーマンスを評価
- 教育・学習に関する基準は主要要素
- 今後決定を要する事項:
  - 教育・学習基準に照らして教育・学習の成果をどのように評価するのが最も適切か
  - 教育・学習基準をどのように開発するか
  - 開発された基準をTEQSAはどのように活用するか



## 教育・学習基準



- 交付金受給に対するアカウントビリティー：  
教育基準の明確化及びモニタリングの体系的なアプローチが  
要求される
- 教育のインプットは大切だがそれだけでは不十分  
→学生のアウトカム(学習成果)が重要
- 基準の管理：
  - 基準の明確化、公表
  - 基準に照らした学生の達成度の評価：  
評価の内部的・外部的な承認
  - 基準遵守のモニタリング
- アカデミックスタンダード：  
核となる学問領域の知識及びスキルに関する学習成果

## 「ALTC 学習・教育基準プロジェクト」

- 2009年後期に実施:連邦政府教育・雇用・職場関係省(DEEWR)委託による実証プロジェクト
- 8つの学問分野の識者が各領域の利害関係者グループと連携して実施
- オーストラリア教育資格枠組(AQF)の範囲内にある特定レベルの高等教育学位プログラムの学習成果の最低到達基準を策定
- 学習・教育基準開発のためのアプローチを実証するとともに、将来考えられるその他のアプローチを提言
- 学習・教育基準を評価する手法に関するALTCの決定についてTEQSAに情報提供



## 対象となる学問分野



- 建築学: 建築学学士号・修士号(コースワーク)、建築マネジメント学士号
- 芸術、社会科学、人文学: 歴史学及び地理学専攻の学士号
- ビジネス、経営、経済学: 会計学学士号・修士号
- 創造芸術、パフォーマンスアーツ: この分野全般の学士号・修士号(コースワーク)
- 工学及びICT: 工学学士号
- 保健、医学、獣医学: 入門レベルの専門家
- 法学: 法学学士号
- 自然科学: 化学及び数学の学士号または優等学士号

## 基準の開発段階



1. 参照基準/アドバイザー・グループを設置
2. AQF及びその他の取組(国内及び国際的なアクレディテーション基準、欧州のチューニング・プロジェクト、英国のサブジェクト・ベンチマーキング等)に基づく学習成果の最低到達基準案を作成
3. 主要な利害関係者グループからのフィードバック
4. より広範な学問分野コミュニティを関与させる
5. 学習成果案の見直し
6. 学習成果最終案の支持または承認
7. 学問分野コミュニティへの普及
8. 基準維持のためのメカニズム

## プロジェクトの成果



- 2010年12月:連邦政府教育省(DEEWR)及びTEQSAに報告
  - 学習成果の最低到達基準
  - 実証プロジェクトの評価
  - 本プロジェクトを超える持続可能なアプローチの提言
- 各学問分野のパンフレット
  - コンサルテーション及び開発のプロセス
  - 学問分野の性格とその範囲
  - 各学問分野の学習成果の最低到達基準
  - 注釈

## まとめ(これまでの取組から学んだこと)



- 学問分野コミュニティ同士の高い協力関係  
→連携が推進されることによりさらに質の高い成果が得られる
- カリキュラムの見直し、改訂への多大な刺激となる
- 評価の内部的・外部的承認については、高等教育セクター全体の意識を高める必要がある
- こうしたプロセスが、質の問題に対するセクター全体のよりよい知識と理解を生み出す
- 専門職及び雇用主グループを関与させる効果的な方法

## 連絡先

キャロル・ニコル：[carol.nicoll@altc.edu.au](mailto:carol.nicoll@altc.edu.au)

ALTCウェブサイト：[www.altc.edu.au](http://www.altc.edu.au)

Level 14, 300 Elizabeth St Surry Hills NSW 2010 Australia  
PO Box 2375 Strawberry Hills NSW 2012 Australia  
電話 02 8667 8500  
Fax 02 8667 8515

